



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,909	3.6	503	4.0	499	0.4	293	1.2
29年3月期第2四半期	14,396	5.0	524	29.5	497	17.5	290	28.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 289百万円 (10.1%) 29年3月期第2四半期 262百万円 (30.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.61	
29年3月期第2四半期	23.18	

平成29年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

また、平成30年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	14,329	4,556	31.8	367.63
29年3月期	13,869	4,352	31.4	349.73

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,556百万円 29年3月期 4,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		4.00	8.00
30年3月期		4.00			
30年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	0.4	620	10.9	610	11.2	310	38.6	24.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	13,495,248 株	29年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,100,401 株	29年3月期	1,050,661 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	12,429,036 株	29年3月期2Q	12,514,313 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用環境の改善により、景気は緩やかな回復基調にあります。個人消費は先行きの生活に対する不安感から節約志向が続いており、力強さに欠ける状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは企業のレゾン・デトルが高まるように、お客様に満足していただける製品・サービスを提供する「飲料製造リテイル事業」(SPA)への選択と集中を推進するとともに、収益性に重点を置いた事業構造の転換に取り組んでまいりました。海外事業では、現地のパートナー企業への資本参加や事業提携を通じて飲料ビジネスの拡大を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14,909百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益503百万円(同4.0%減)、経常利益499百万円(同0.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円(同1.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター(運営リテイル)業界におきましては、自販機ロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、業種・業態を越えた競争の激化や採用難による人手不足等により、事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループではアシード飲料自販機にカップコーヒー自販機とフード自販機を3台セットで展開する「スマートストア」の推進を図りました。「スマートストア」については、コンビニ各社も同様のビジネスモデル(自販機コンビニ)に参入しており、市場は広がりを見せております。当社グループでは、消費者ニーズに即した高付加価値商品をワンストップで提供することで、他社との差別化を図ってまいります。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は8,788百万円(前年同四半期比4.9%減)、セグメント利益は176百万円(同35.9%減)となりました。

② 飲料製造事業

東日本を中心に低温・降雨などの天候不順が続きましたが、ブランドオーナーに対し企画・デザインから製造までを一貫して提案するODM事業が国内・海外ともに好調に推移しました。また、成長市場のRTD(低アルコール飲料)についても、高付加価値PB商品を中心に受注・売上が計画を大きく上回りました。なお、本年6月から新発売しました自社ブランドチューハイ「ASTER」は地域の特産フルーツを使用したプレミアムチューハイとしてシリーズ化(広島瀬戸田レモン、沖縄完熟シークワサー、和歌山ももの3種類)を図り好評を博しております。

この結果、飲料製造事業の売上高は5,961百万円(前年同四半期比19.6%増)、セグメント利益は441百万円(同16.7%増)となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

近年のカフェブームやコンビニ・カウンターコーヒーのヒットにより本格コーヒー市場は緩やかな成長が続いております。このような状況のなか、遊技場等に対して店内のカップ飲料自販機で本格コーヒーが利用できる「アオンズ・カードシステム」の導入強化に取り組み、他社との差別化を図りました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は99百万円(前年同四半期比7.2%減)、セグメント利益は13百万円(同2.0%減)となりました。

④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は60百万円(前年同四半期比0.0%増)、セグメント利益は93百万円(同3.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、6,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ744百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加207百万円及び受取手形及び売掛金の増加556百万円等によるものです。また、固定資産は8,328百万円となり、前連結会計年度末に比べ、284百万円減少いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少34百万円、リース資産(純額)の減少69百万円、のれんの減少37百万円、投資有価証券の減少23百万円、長期前払費用の減少66百万円及び貸倒引当金の増加78百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ460百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ731百万円増加いたしました。これは買掛金の増加368百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加55百万円、リース債務の増加28百万円、未払金の減少131百万円、未払法人税等の増加63百万円及びその他の増加343百万円等によるものです。また、固定負債は2,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ475百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少335百万円及びリース債務の減少134百万円等によるものです。

この結果、負債合計は9,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加293百万円、自己株式の取得による減少34百万円及び剰余金の配当による減少49百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は31.8% (前連結会計年度末は31.4%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027,429	1,234,773
受取手形及び売掛金	1,650,913	2,207,232
商品及び製品	1,173,201	1,208,418
原材料及び貯蔵品	220,407	178,235
前払費用	580,342	605,329
繰延税金資産	68,838	58,696
その他	543,972	516,431
貸倒引当金	△8,827	△8,038
流動資産合計	5,256,278	6,001,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	953,766	919,287
機械装置及び運搬具(純額)	326,444	341,384
工具、器具及び備品(純額)	19,035	16,893
土地	3,582,178	3,581,963
リース資産(純額)	1,296,397	1,226,953
建設仮勘定	11,649	26,282
有形固定資産合計	6,189,472	6,112,764
無形固定資産		
のれん	186,708	149,510
リース資産	36,787	36,579
その他	32,778	31,209
無形固定資産合計	256,274	217,300
投資その他の資産		
投資有価証券	828,069	804,239
長期貸付金	8,338	8,011
長期前払費用	871,829	805,131
繰延税金資産	142,767	141,708
その他	455,315	457,136
貸倒引当金	△138,470	△217,392
投資その他の資産合計	2,167,850	1,998,834
固定資産合計	8,613,596	8,328,899
資産合計	13,869,875	14,329,976

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,461,404	2,830,164
短期借入金	1,580,000	1,590,000
1年内返済予定の長期借入金	615,618	670,716
リース債務	481,590	510,245
未払金	747,667	615,876
未払法人税等	157,227	220,843
未払消費税等	157,012	143,749
賞与引当金	119,167	126,435
その他	618,676	961,886
流動負債合計	6,938,364	7,669,916
固定負債		
長期借入金	1,043,026	707,668
リース債務	1,094,551	959,873
繰延税金負債	5,903	5,297
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	104,975	104,975
退職給付に係る負債	127,318	126,756
資産除去債務	2,800	2,800
その他	165,967	161,253
固定負債合計	2,579,007	2,103,087
負債合計	9,517,371	9,773,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,538,687	3,782,418
自己株式	△542,832	△577,601
株主資本合計	4,807,105	5,016,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,720	30,043
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	10,639	821
その他の包括利益累計額合計	△454,852	△459,347
新株予約権	251	251
純資産合計	4,352,503	4,556,972
負債純資産合計	13,869,875	14,329,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,396,671	14,909,877
売上原価	8,932,985	9,579,217
売上総利益	5,463,686	5,330,660
販売費及び一般管理費	4,938,865	4,826,809
営業利益	524,821	503,850
営業外収益		
受取利息	2,804	360
受取配当金	4,381	4,063
持分法による投資利益	6,246	6,422
投資事業組合運用益	—	8,536
不動産賃貸料	3,226	3,096
受取賃貸料	5,146	4,749
その他	10,889	12,285
営業外収益合計	32,694	39,514
営業外費用		
支払利息	42,255	34,535
その他	18,011	9,728
営業外費用合計	60,267	44,264
経常利益	497,248	499,100
特別利益		
固定資産売却益	5,134	191
投資有価証券売却益	8,011	17,926
特別利益合計	13,145	18,117
特別損失		
固定資産売却損	49	—
固定資産除却損	4,257	964
減損損失	37,692	215
特別損失合計	41,999	1,179
税金等調整前四半期純利益	468,394	516,038
法人税、住民税及び事業税	182,367	213,562
法人税等調整額	△4,072	8,966
法人税等合計	178,294	222,528
四半期純利益	290,099	293,509
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,099	293,509

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	290,099	293,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,932	5,323
為替換算調整勘定	△1,047	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,711	△9,798
その他の包括利益合計	△27,691	△4,494
四半期包括利益	262,408	289,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,408	289,015

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,243,404	4,985,056	107,309	60,900	14,396,671	—	14,396,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,710	359,632	339	77,901	464,583	△464,583	—
計	9,270,114	5,344,689	107,649	138,802	14,861,255	△464,583	14,396,671
セグメント利益	275,119	378,092	14,022	90,866	758,100	△233,279	524,821

(注) 1. セグメント利益の調整額△233,279千円には、セグメント間取引消去2,270千円、のれんの償却額△5,014千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△230,535千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産を除く)の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、それぞれ「自販機運営リテイル事業」で948千円、「飲料製造事業」で10,041千円、「飲料サービスシステム事業」で4千円、「不動産運用事業」で2,133千円、「調整額」で67千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,788,046	5,961,337	99,567	60,925	14,909,877	—	14,909,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,975	318,176	330	77,404	423,886	△423,886	—
計	8,816,021	6,279,513	99,898	138,330	15,333,764	△423,886	14,909,877
セグメント利益	176,385	441,416	13,734	93,671	725,209	△221,358	503,850

- (注) 1. セグメント利益の調整額△221,358千円には、セグメント間取引消去14,265千円、のれんの償却額△5,014千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△230,609千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。